

3D都市モデルから新たな価値を生み出す2日間 『PLATEAU Hack Challenge 2026 in Tokyo』参加者を募集

9月26日・27日に東京・大崎で開催、3D都市モデルを使ったプロトタイプ開発に挑戦

株式会社角川アスキー総合研究所（本社：東京都文京区、代表取締役社長：垣貫真和）は、国土交通省が推進する「Project PLATEAU（プロジェクトプラトール）」の一環として開催される『PLATEAU Hack Challenge 2026 in Tokyo』の参加者募集をお知らせします。

本イベントは、PLATEAUの3D都市モデルを活用し、参加者が商品・サービス・システム・アプリケーションなどのプロトタイプ開発に取り組むハッカソンです。2026年9月26日（土）・27日（日）の2日間、東京・大崎のTUNNEL TOKYOで開催します。

ゲーム、AR／VR、映像、ビジュアライズ、シミュレーションなど、活用テーマは自由です。エンジニア、デザイナー、クリエイター、学生をはじめ、3D都市モデルを使った開発や新たなサービス創出に関心のある方を対象に参加を募集します。



『PLATEAU Hack Challenge 2025 in Tokyo』の様子

■『PLATEAU Hack Challenge 2026 in Tokyo』開催概要

イベント名：PLATEAU Hack Challenge 2026 in Tokyo

開催日：9月26日（土）～9月27日（日）

会場：TUNNEL TOKYO

所在地：東京都品川区西品川1丁目1-1 住友不動産大崎ガーデンタワー9階

参加費：無料

募集人数：ハッカソン参加者40名

募集締め切り：9月24日（木）12:00まで

参加形式：個人・チームのいずれも可

主催：国土交通省

協力：一般社団法人MA、株式会社マウスコンピューター、アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社

運営：株式会社角川アスキー総合研究所（ASCII STARTUP）

PLATEAU Hack Challenge 2026 in Tokyo 参加申込ページ（connpass）

参加申込・開催詳細は参加申込ページをご確認ください。

<https://asciistartup.connpass.com/event/407000/>

■ イベントの特徴

1. 3D都市モデルを自由なテーマで活用

PLATEAUが整備・公開する3D都市モデルと、参加者自身の技術やアイデアを組み合わせ、商品・サービス・システム・アプリケーションなどのプロトタイプ開発に取り組みます。ゲーム、AR／VR、映像・インスタレーション、ビジュアライズ、シミュレーションなど、分野を限定せず3D都市モデルの新たな活用方法を探ります。

2. 個人・チームのどちらでも参加可能

個人参加の場合は、会場でのアイデア発想やチームビルディングを経てチームを編成します。チームでの参加も可能です。エンジニア、デザイナー、クリエイター、学生など、職種や専門分野を問わず参加できます。

3. サポーターが企画・開発を支援

各技術分野やハッカソンに精通したサポーターが、アイデアのブラッシュアップやプロトタイプ開発を支援します。2日間の開発後には成果発表と審査を行い、優秀作品を表彰します。

4. 充実した開発環境

会場には、株式会社マウスコンピューターの提供により、ハイスペックなデスクトップPC「DAIV KM-I7G6A」を2台用意します。参加者は、2日間のハッカソンでプロトタイプ開発に利用できます。また、アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社の提供により、イベント期間中のみ利用できるAWSアカウントを用意します。参加者はAWSサービスを使用したアプリケーションなどを開発できます。

■ 2日間でアイデアから成果発表まで

9月26日（土）

- ・ オープニング／PLATEAU概要説明
- ・ アイデア発想・チームビルディング
- ・ 開発方針発表
- ・ ハッカソン

9月27日（日）

- ・ ハッカソン
- ・ 成果発表
- ・ 審査・結果発表
- ・ 参加者交流

※詳細なスケジュールは参加申込ページをご確認ください。

■ PLATEAU AWARDへの応募も可能

本イベントで開発した成果物は、国土交通省が主催する3D都市モデルの開発コンテスト「PLATEAU AWARD 2026」への応募も可能です。PLATEAU Hack Challengeで生まれたアイデアを、イベント終了後も継続して開発・発展させる機会につながります。

■ 「Project PLATEAU」について

「Project PLATEAU」は、国土交通省がさまざまなプレイヤーと連携して推進する、日本全国の都市デジタルツイン実現プロジェクトです。都市活動のプラットフォームデータとして3D都市モデルを整備し、さまざまな領域でユースケースを開発しています。さらに、誰もが自由に都市のデータを引き出せるよう、3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を通じて、まちづくりのDXとオープンイノベーションの創出を推進しています。

公式サイト：<https://www.mlit.go.jp/plateau/>

■角川アスキー総合研究所の役割

角川アスキー総合研究所は、当社が運営するスタートアップ・テクノロジー分野のニュースメディア『ASCII STARTUP』を通じ、「Project PLATEAU」に2020年度のプロジェクト開始当初から携わり、3D都市モデルの活用促進に向けた情報発信やコミュニティ形成支援などに取り組んでいます。

本イベントでは、これまでのPLATEAU関連業務で培った知見やネットワークを生かし、運営事務局としてイベントの企画・運営を支援します。

■本件に関する法人・団体からのお問い合わせ先

角川アスキー総合研究所 企業・団体向けサポート窓口

E-Mail : info@lab-kadokawa.com

■WEBメディア『ASCII STARTUP』

URL : <https://ascii.jp/startup/>

■株式会社角川アスキー総合研究所について

角川アスキー総合研究所は、メディア運営やコンテンツ制作で培った知見を生かし、調査、コンサルティング、マーケティング、ビジネスソリューション、出版、教育支援など幅広く事業を展開しています。コンテンツ力、メディア力、リサーチ力を総合的に活用し、企業・自治体・官公庁など、お客様の課題解決に取り組んでいます。

公式サイト : <https://www.lab-kadokawa.com/>

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社角川アスキー総合研究所 広報担当 堀

press-cp@lab-kadokawa.com